

門松ものがたり vol.01



1970年代 糸満市阿波根農場（現在の南部支社）

桃原農園の手作り 門松ができるまで

新しい年を迎える門松を、一つひとつ丁寧に手作業でお作りしています。

私たちは1970年代から門松づくりに携わり、受け継がれてきた技術と工夫を大切にしながら、今も変わらず作り続けています。

見た目の美しさだけでなく、安全に飾っていただけることにも配慮し、素材選びから仕上げまで、すべての工程に意味を持たせています。

これまで積み重ねられてきた多くの先輩方の知恵と工夫、その歴史を受け継ぎながら、一つひとつ丁寧に仕上げています。

1、素材選び



門松に適した竹は県内での確保が難しいため、毎年、九州から海上輸送で取り寄せています。竹林から運び出す際は、引きずって傷が付かないよう、細心の注意が払われています。



松は県内北部地域で育てられた琉球松を使用しています。専門農家が、台風などの災害で傷まないよう、1年間かけて管理した松を使用させていただきます。

海を越えて届く竹

門松は素材によって印象が大きく変わるため、竹・松・飾り一つひとつ手に取り、状態を見ながら選んでいます。同じように見える素材でも、実際に使用できるものは限られています。

海を越えて届いた竹の中から、さらに状態の良いものだけを選び、仕上げに使用しています。

手間はかかりますが、素材の質にこだわるのが、全体の品格につながると考えています。



次号へつづく。次号掲載予定日：5月22日